

4. iCommons オープニングに向けた取り組み

どれだけコンセプトをつくり、新しい施設ができたとしても、最終的にそれを活かせるかどうかは「人」にかかっている。そうした認識のもとで、すでに取り組みが始まっている。

2016年7月1日から2日にかけて、甲南大学白川台キャンパスに自治会、文化会、体育会の学生約100名が集まった。iCommonsのオープニングに向けて、コンセプトに対する共通理解を図ることと、新しい施設の活用について考え始める機会とすることが目的である。

コクヨ株式会社の坂本氏から、「多様な人とつながっていくことの意義」について講演をいただいた後、グループで「iCommonsで何ができるか。どんなことをやりたいか。」について話し合った。これまでの学生会館のあり方にこだわる学生もいたが「前向きに新しいコトをやってみよう。」という意見や、ユニークなアイデアもあり、大変有意義な集まりとなった。

今後こうした集まりを継続して、iCommonsができあがった時には、新しい施設にフィットした使い方を理解している人がひとりでも多くなるようにしていきたい。学生、教職員を問わず、「iCommonsで何ができるか。どんなことをやりたいか。」を考えてほしい。



@白川台キャンパス

TOPIC 1

カフェ＆バー プロント（PRONTO） 甲南大学店（仮称）出店決まる！

iCommons 1階レストランには「カフェ＆バープロント（PRONTO）」の出店が決まっている。「PRONTO」といえば、サントリー。ここでも甲南とご縁の深い企業がiCommonsプロジェクトを応援してくれている。

朝はコーヒーとパン、昼はパスタ、夜はゆっくりと時間を過ごせる料理など、シーンに応じたメニューが提供される。夜はアルコールもOKだ。グループ用の個室があり、周囲に気兼ねなくランチミーティングもできる。お店を貸し切って、ゼミコンパやクラブの打上げができるのももちろん、学会・講演会後のパーティー、懇親会などiCommons 1階食堂（仮称）を使った大人数の催しにも対応してくれるので、ぜひ利用してほしい。

TOPIC 2

「一本松」はどうか？

旧学生会館前の通称「一本松」は、甲南に縁のある人にとって「学園生活の思い出の一部」として強く記憶されているかも知れない。

iCommonsの設計にあたっては、「一本松」やその周囲の石段はもとより、学生会館を取り囲んでいた桜や銀杏などの樹木を、できるだけ残そうと配慮された。現在は工事の仮囲いで覆われているが「一本松」も石段も元のまま保全されている。

iCommonsオープニングのときには「一本松」とクリーニングされた石段が再びその姿を見せ、iCommonsとともに、甲南大学の移り変わりを見守ってくれるはずだ。



お問い合わせ先

学校法人甲南学園 管財部
〒658-8501
神戸市東灘区岡本8丁目9番1号
tel:078-435-2606

All about !

iCommons Project



1. iCommons Project とは

岡本キャンパスの福利厚生ゾーン（旧学生会館・文化部室・学生会館等）は、築50年前後を経過、老朽化、耐震性の低下が見られるとともに、今日の大学教育のニーズに対応した機能をそなえたものにする必要が生じてきた。このため甲南学園創立100周年（2019年）事業のひとつとして建て替えが計画され、2017年9月の竣工に向け、現在工事が行われている。

新しい校舎は、2014年の「KONANワンワード・プロジェクト」で甲南大学の魅力を表現するワンワードに選ばれた「KONAN INFINITY」を冠し、「**KONAN INFINITY COMMONS**」と命名された。

また、校舎の愛称は、かた苦しくない交流（informal communication）を通じた学びや知識生産の価値共有（融合）によって、学生が「高潔さ（integrity）」を身につけ、「自立創生（independence）」し、「無限の可能性（infinite potential）」を発揮することなどを期待して、「**iCommons**」となり、すでに多くの人に知られるところとなっている。

2. iCommons Project がめざすもの

◆ Concept 1 岡本キャンパスの結節点

・・・多様なひと・情報が混ざりあい、刺激しあう場

これまでの食堂、ホール、自治会と文化会課外活動スペースなどに加え、全学的な交流・発表スペース、正課授業や研究発表が行えるスペースの他、事務組織として学生部・キャリアセンター、全学生のためのコモンズ、体力づくりのためのフィットネスルーム、カフェ・レストランなどのスペース・機能が設けられる。

1階エントランスから2階にかけての吹き抜け空間に設けられる大階段のホールは「Agora」と呼ばれる多目的スペースである。ここでは天候を気にせずさまざまなプレゼンテーションができ、その様子はiCommonsに集う人々の目に自然に触れることになる。大型スクリーンを使った画像投影もできることから、幅広く利用されるだろう。このように多様なスペース・機能が設けられることによって、これまでにない出会いが生まれ、学生の活動が刺激されたり、新たなコラボレーションが起こったりすることが期待されている。

◆ Concept 2 オープンとシェア

・・・活動の可視化・柔軟に使いまわす施設

クラブやさまざまなプロジェクトの様子が誰にでも感じられるように、スペースは可能なかぎりガラス張りでオープンなものになる。また、アイデアをまとめたり、作業を進めたりするプロセスもオープンにできる。

iCommonsのスペースは、多目的に使えるような工夫が凝らされる。コモンズは日ごりの利用スタイル（クラブ活動・自習・ミーティングなど）から、大学祭や研究発表、イベント時には発表スペースに変えることができる。食堂には飲食を伴ったミーティングや会議に使えるようゆやかに仕切られた予約制のブースが設けられ、昼食時だけでなく、いつでも集まってコミュニケーションできる。地下の駐車場は、大学祭が近づく展示や模擬店の準備のための作業スペースとなる。これらの他にもスペースをシェアして多様な使い方ができるようになり、時間帯や季節を問わず、にぎわいのある施設となるだろう。

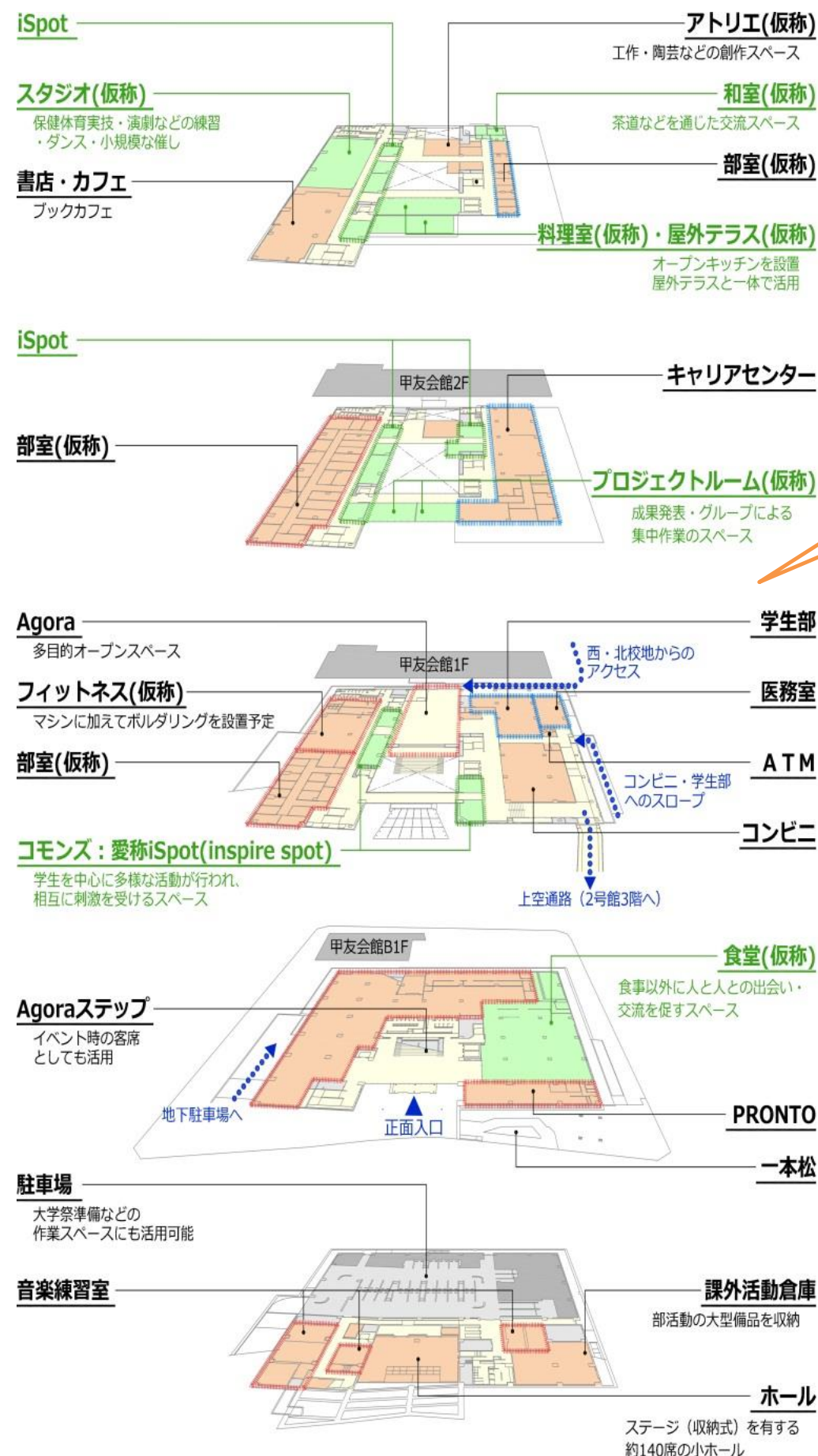
◆ Concept 3 アクセシビリティ

・・・施設へのアクセスのしやすさ

道路で隔てられ、高低差のあるキャンパス東エリアとiCommonsとの間は、県・市や関係機関の理解を得て上空通路が設けられる。2号館3階の西側から上空通路でiCommonsの2階にアクセスすれば、コンビニや学生部・医務室がすぐ目の前である。1フロア降りれば食堂とカフェ・レストラン、1フロア上がればキャリアセンターだ。車いすの利用者を含めて、雨でも傘をささずにアクセスできる。

キャンパス北・西エリア（理工学部・知能情報学部）からは、甲友会館を経由して、また現在の学友会館北館の前から直接、iCommonsの食堂、コンビニ、学生部等にアクセスでき、どのルートからでも敷地に入れば傘をささずにすむようになっている。

iCommons 完成予定



4階

3階

2階

1階

B1階



大階段のホール「Agora」（イメージ）

3. Agora でこんなことができる！

●課外活動なら●

部員勧誘のための催し、文化系クラブの発表・ライブ、体育系クラブの壮行会、祝勝会、表彰式、パブリックビューイング、各地域とコラボレーションしたイベント…など

●教育研究活動なら●

講演会、ゼミ発表、研究発表、成績優秀者の表彰、ビブリオバトル…など

●事務組織なら●

各種ガイダンス、留学・就活などの体験発表、教育懇談会、高校生の大学訪問、留学生のウェルカム・フェアウェルパーティー…など